

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 市道舗装排水整備事業
-------------------	-------------------------

区分	番号	名 称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
小分類	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	3	生活道路の改善・適正な維持管理
事務事業番号	010	事務事業コード 43113010 事業開始年度 昭和 - 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	市道舗装排水整備事業
------	------	------------	------------

部 名	都市整備部	グループ名	土木 G
-----	-------	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 市民
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 市内全域の市道の路盤及び舗装の改良を年次計画的に整備実施する。 市道整備に伴う測量、調査及び設計 若山 4 4 号線外 1 実測線測量調査委託 外 6 件 市道の改良、舗装及び排水路工事 改良工事 美園 8 1 号線 外 4 路線 道路延長 1 8 9 . 3 m 舗装工事 蘭法華通り 外 1 0 路線 道路延長 2 , 0 4 1 . 1 m
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 市道の整備を行い、都市機能の強化充実を図るとともに、交通安全確保を促進する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 道路法第 2 9 条第 1 項

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	路盤舗装・改良工事・排水路工事	m	目標値	1,333	1,333	1,031	1,300	1,300
			実績値	2,230				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分				単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	地域活性化・経済危機対策臨時交付金	千円	36,581					0
	道支出金	名称		千円						0
	地方債	名称		千円	40,700	41,800	42,000	57,900	57,900	157,800
	その他	名称		千円						0
	一般財源	名称		千円	3,579	14,200	6,053	42,100	42,100	90,253
合 計					80,860	56,000	48,053	100,000	100,000	248,053
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費				職 員	千円	5,106	7,002			
				嘱 託 員	千円	0	0			
				臨時職員	千円	0	0			
				合 計	5,106	7,002				

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 本事業は、道路法第29条の規定に基づき、安全かつ円滑な交通を確保するために、市道の整備を行うものであることから妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 市道の未改良道路を整備することにより、安全かつ円滑な交通を確保することができることから成果は上がっている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 道路の整備により通行者の安全性・快適性を確保することができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 本事業は、土木工事として設計積算されたものを工事請負として入札執行するものを主としており、国や道の工事積算を基本として最低限の必要な経費としており、コスト削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	未改良の道路を放置することにより、安全かつ円滑な交通を確保することが困難となることと併せて、市道の維持補修に係る費用も増大していくこととなる。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）